

2024（令和6）年度活動報告

1. 2024年度の社会情勢

2024年度は、ロシアとウクライナの紛争をはじめとした戦争、権威争い等が世界各地で続き、ガソリン等をはじめとした物価の高騰がおこり、地震や大雨等の災害が頻発する等、社会情勢はあまり明るいとはいえない1年でした。

日本でも、正月早々の能登半島地震、8月に宮崎で発生した震度6弱の地震等の災害が起こり、南海トラフ大震災の不安が国民に大きく広がりました。

一方で、7月にフランスで開催されたオリンピック、パラリンピックが明るいニュースとして大きく注目を集めました。世界中の選手がスポーツをとおして競い合い、国同士の諍い等関係なく、お互いの健闘をたたえ合う姿に、多くの人々が声援を送りました。

そして、7月3日には最高裁判所で強制不妊手術等の国家賠償を求める裁判について勝訴判決が下されました。旧優生保護法が憲法違反であること、除斥期間を適用することは著しく正義・公平の理念に反することを厳しく指摘した判決でした。被害者が正しい情報を得ることができる環境になく、権利を主張できなかったことが背景にあります。二度と同様のことが起こることのないよう、意識していかなければなりません。

そういった社会情勢の中で、聴覚障害者はもちろんのこと、障害者手帳を持っておられない方、高齢者の方等、情報コミュニケーションに不安を抱えている多くの方々に対して、日常時はもちろん、災害時等の様々な場面における情報コミュニケーション支援をどう行っていくか、私たちの役割が問われています。

2. 全国的な運動

・東京2025デフリンピック開催に向けた動きについて

東京2025デフリンピックの開催に向けて、全日本ろうあ連盟では、開催地である東京都等の行政と連携して開催準備を進めると共に、社会に対してデフリンピック、デフスポーツ等の啓発を推進しています。

県協会でも、デフスポーツ・サポーターの取り組みを県内関係者に啓発しているほか、宮崎県耳の日記念大会等の様々な企画をとおして、県民に対してデフリンピック、デフスポーツの啓発活動を行いました。

今年11月、いよいよ開催本番が迫っていますので、今年度もさらなる啓発活動に取り組んでいく方針です。

・旧優生保護法裁判に関する動きについて

昨年7月3日、最高裁判所で強制不妊手術等の国家賠償を求める裁判について勝訴の判決が下されました。旧優生保護法が違法であること、除斥期間を適用することは

著しく正義・公平の理念に反することを明示し、国に対して謝罪と賠償を命ずる判決でした。

それに対して、原告団の方々に首相や大臣から謝罪が行われ、被害者の方々に補償金を支給するための保障法がスタートしていますが、これは 2029 年までの 5 年間の時限立法となっています。人権に非常に深く関わる課題であるため、誰にも相談せず、あるいは相談できずに深い傷を抱えたまま生きてこられた方々はまだまだおられることが予想されます。

県協会では、昨年 12 月に映画「沈黙の 50 年」上映会を行ったほか、宮崎県とも連携して旧優生保護法の保障法の啓発映像に手話通訳を付ける取り組みを行いました。今後も機会を作って啓発していく予定としています。

3. 県内の主な出来事

・国民スポーツ大会、障害者スポーツ大会開催に向けた準備が進む

2027（令和 9）年に開催される第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会に向けて、宮崎県では会場、スタッフ等の様々な準備が本格化しています。

当協会は、全国障害者スポーツ大会専門委員会に委員として参加し、会場設計段階の情報バリアフリー、大会の様々な場面における情報保障等の充実について意見を述べました。

また、宮崎県から委託を受けて「手話通訳・要約筆記ボランティア養成事業」を実施し、専従職員を配置して大会手話通訳・要約筆記ボランティアの養成に取り組んできました。今年 4 月からは、事務局、手話担当、要約筆記担当の 3 名体制に増員し、10 月からのボランティア募集に向けた準備を進めていく予定となっています。

4. 県協会の取り組み

（1）第 46 回宮崎県耳の日記念大会の開催

3 月 2 日（日）、川南サンA文化ホールで第 46 回宮崎県耳の日記念大会が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できない状況が続き、実に 6 年ぶりの大会開催となりました。宮崎市聴覚障害者協会、開催地の川南手話サークルをはじめとした多くの手話サークル等の皆さんによる実行委員会が結成され、大会に向けて尽力していただきました。当日は 360 名あまりの参加者が集まり、久しぶりに県内の仲間たちと出会い、楽しく交流を深める姿があちこちでみられました。

全日本ろうあ連盟スポーツ委員会委員長の太田陽介氏による講演、デフ陸上選手によるトークショー等で今年 11 月に迫ったデフリンピックの啓発も行われ、県民の皆さんに大きな刺激となったようでした。

（2）手話奉仕員養成テキストの改訂に沿った準備

昨年6月29日（土）～30日（日）手話奉仕員養成講師研修会を県立聴覚障害者センターで実施しました。県内各地からオンラインを含めて125名の参加がありました。講師として全国手話研修センターから塚原辰彦氏をお招きし、改訂された手話奉仕員養成テキストの内容や指導ポイントについて丁寧に解説していただきました。

これまでのテキストは日本語中心でしたが、今回の改訂で、国語で日本語を学ぶように、手話言語で学ぶ、指導するという考え方でテキストが作られています。その違いについてポイントをつかむ必要があります。

この研修会だけでポイントを十分に身に付けることは困難ですので、県協会では今後も県内各地で講師研修会の開催を検討していく予定としています。

（3）国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けた準備

当協会では、宮崎県から委託を受けて「手話通訳・要約筆記ボランティア養成事業」を実施し、大会手話通訳・要約筆記ボランティアの養成に取り組んでいます。

今年4月からは、事務局、手話担当、要約筆記担当の3名体制に増員し、10月からのボランティア募集に向けた準備を進めていく予定となっています。

（4）九州ブロック組織活動者研修会・宮崎県開催の支援

12月20日～21日の日程で、九州ブロック組織活動者研修会が宮崎県日向市で開催されました。参加者は49名でした。

地元の日向聴覚障害者協会、県協会役員の支援をいただき、会場や宿泊ホテル等の準備手配を行いました。1日目は神武天皇の歴史、そして神武天皇ゆかりの地の美々津地区等の社会見学を行い、宮崎県にまつわる古代の歴史について振り返りました。

2日目は旧優生保護法裁判の進行状況についての説明や、九州各県協会の活動や課題についての報告・意見交換会を行いました。

5. 課題事項について

各地区協会では役員・会員の高齢化が進み、今後の自立運営に懸念が出てきている協会が出てきています。後継となる人材がおらず、やむを得ず高齢の方が役員を続けている状況です。各地区協会では自立運営を行っていく原則は尊重しつつ、こういった形で県協会から支援を行っていくか、県協会と各地区協会での意見交換を重ねながら対応していく方針としています。

6. 各専門部事業

2024年度における各専門部事業の詳細は後続の報告書のとおりですので、ご検討と意見ををお願いします。

2024（令和6）年度 社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会 事業報告

総務部

- (1) 関連組織との連携
全日本ろうあ連盟、九州聴覚障害者団体連合会、各地区協会、各専門部の事業の連絡調整
- (2) 各種大会及び研修会参加の推進（主な事業）
- ・第72回全国ろうあ者大会
日 程：2024年6月6日～9日
会 場：和歌山県和歌山市
参加者：17名（ろう者12名、聞こえる人5名）
 - ・第72回全九州ろうあ者大会・第51回全九州手話通訳者研修会
日 程：2024年9月20日～22日
会 場：熊本県熊本市
参加者：103名（ろう者31名、聞こえる人72名）
- (3) 第46回宮崎県耳の日記念大会の開催
実行委員会と連携し、6年ぶりに大会を開催した。
日 程：2025年3月2日
会 場：サンA川南文化ホール
参加者：約360名
- (4) 全国手話研修センター後援会加入の推進
- (5) 県協会拡大専門部長会議の開催
オンライン会議3回、集合会議1回を実施し、耳の日記念大会、九州ブロック組織活動者研修会等の進捗状況及び役割確認等の協議を行った。

組織部

- (1) 2020年度～2024年度までの県協会会員状況（3月31日時点）

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
117名	105名	107名	120名	118名

（昨年度と比べると2名減少）

- (2) 年間三大大行事参加の推進（総務部と連携）
令和6年度九州ブロック組織活動者研修会が宮崎県日向市で開催され、日向聴覚障害者協会と連携して会場・ホテル確保等の支援を行った。
日 程：2024年12月21日～22日
会 場：宮崎県日向市
参加者：49名（宮崎県から11名参加）

(3) 日聴紙購読状況

2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
171 名	158 名	94 名	114 名	170 名

手話講習会受講生が中心。ろう者も含めた購読者の拡大に努める。

体育部

(1) 第 61 回全九州ろうあ者スポーツ大会

日程 : 2024 年 5 月 18 日～19 日

開催地 : 佐賀県佐賀市

参加者 : 男子バドミントン競技 2 名出場

女子バドミントン競技 1 名出場

女子ダブルス 準優勝 波多野（大分）・東久美子

(2) 第 58 回全国ろうあ者体育大会

日程 : 2024 年 9 月 12 日～15 日

開催地 : 群馬県

宮崎県参加なし

(3) 2024 年度九聴連体育委員会

教育対策部

実施した事業

都城さくら聴覚支援学校の新任者、希望者を対象に毎月一回程度、手話学習会を実施し、基本的な手話表現について指導を行った。

手話通訳対策部

実施した事業

1. センター職員と連携し、下記の研修会講師等の活動を行った。

(1) 県内手話講習会講師のスキルアップ等にかかる取り組み

7 月 2 日 手話奉仕員養成講師研修会

7 月 9 日 手話通訳者養成講師研修会

11 月 26 日 ろう講師研修会

(2) 手話通訳者全国統一試験の合格者増加を目指した取り組み

5 月 28 日 手話通訳者全国統一試験対策学習会

(3) 現任手話通訳士、手話通訳者のスキルアップ等にかかる取り組み

7 月 29 日～30 日 手話通訳士養成研修会

10 月 29 日 登録手話通訳者・要約筆記者研修会（合同開催）

11 月 12 日 現任手話通訳者研修会

2. 全国、九州の研修会参加奨励

- ・第57回全国手話通訳問題研究集会 8月23日～25日 鹿児島県
参加者： 名（ろう者6名、聞こえる人 名）
- ・第51回全九州手話通訳者研修会 9月21日 熊本県
- ・九州ブロック現任手話通訳者研修会
- ・九州ブロック手話指導講師養成研修会

福祉労働対策部

実施した事業

- （1）国及び宮崎県に要望書を提出しました。
- ・全てのテレビ放送ニュース番組への手話通訳及び文字情報保障の早急な実現を要望します。（国）
- ・第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会が県民総ぐるみで持続可能な手話言語に対する理解促進及び手話通訳者・要約筆記者の拡大につながるよう、支援をお願いいたします。

- （2）センター職員と連携し、ろう高齢者への生活支援を行いました。

情報、コミュニケーションだけではなく、買い物や食事などの支援が必要となる事例が出てきています。フードバンク、あんしんサポートセンター等と連携して生活支援を行っています。

- （3）センター職員と連携し、ろう者の労働に関する相談、支援対応を行いました。

職場での情報コミュニケーション、合理的配慮等の場面で、ろう者と職場の思いがうまくマッチングせず、職場に対して不満がある事例があります。職場及びろう者との対話や提案、助言等をとおして、お互いが納得できる職場環境となるよう支援を行っています。

高齢部

企画の実施、復活に向けた取り組みができなかった。改めて各専門部で連携し、企画の実施等を通して復活を目指していく。

女性部

- （1）女性部役員会の協議実施
- （2）県協会企画への協力
 - ・手話サマーフェスティバル、恵方巻イベント等
- （3）全国ろうあ女性集会、九州ろうあ女性フォーラム等への行事参加

青年部

- (1) 青年部役員会の協議実施
- (2) 青年部主催の交流企画（ボウリング大会）
- (3) 県協会企画への協力
 - ・手話サマーフェスティバル、恵方巻イベント等
- (4) 全国ろうあ青年研究討論会、九州ろうあ青年研究討論会等への行事参加

令和6年度県立聴覚障害者センター業務報告書(4月～3月)

(1) センター利用に関する業務

(1) 研修室・試写室・交流ホール・談話室の利用状況

利用者数 6,283 人 (前年度同月比 122.6%)
 ① 研修室 1,543 人 ② 試写室 921 人
 ③ 交流ホール 3,160 人 ④ 談話コーナー等 659 人

(年度利用実績)

	研修室	試写室	交流ホール	談話コーナー等	合計	前年度	比較
4月	124	55	113	53	345	264	130.7%
5月	144	107	150	54	455	281	161.9%
6月	115	105	430	55	705	479	147.2%
7月	122	62	216	35	435	623	69.8%
8月	86	87	206	42	421	436	96.6%
9月	184	60	303	49	596	457	130.4%
10月	215	109	401	112	837	647	129.4%
11月	106	42	223	65	436	439	99.3%
12月	128	158	422	66	774	396	195.5%
1月	76	26	164	54	320	240	133.3%
2月	113	45	365	44	567	396	143.2%
3月	130	65	167	30	392	465	84.3%
合計	1,543	921	3,160	659	6,283	5,123	122.6%

(2) センターへの来訪者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来訪者数(人)	149	110	141	133	127	113	85	86	52	90	61	111	1,258

※相談、打合せ、報告書提出、書籍等購入等の来所がありました。

(3) センター機器等貸出状況

機器名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
OHC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクター	0	1	0	1	2	1	4	2	0	5	1	6	23
接続ケーブル	0	3	0	1	2	1	2	2	0	7	1	6	25
スクリーン	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3	0	0	5
補聴器	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
携帯磁気ループ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延長コード	0	9	0	0	0	0	0	2	0	14	0	8	33
HUB	0	3	5	1	1	0	4	3	0	7	1	5	30
LANケーブル	0	12	21	3	8	0	16	11	0	37	6	34	148
貸出用パソコン	0	2	3	1	1	0	4	2	0	10	1	6	30
コミュニケーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	30	29	7	15	2	30	23	0	83	10	65	306

2. センターの維持及び保全に関する業務

- (1) 県立聴覚障害者センターの安全衛生管理表をもとに各部屋の担当者ごとに①建物・備品等②消防設備③電気設備④整理整頓・衛生維持の点検を行いました。
- (2) 毎朝業務確認のための朝礼を行うとともに毎週月曜日に1週間の業務及びセンターの安全の確認のための朝礼を行いました。
- (3) 令和5年3月13日からマスク着用は個人の判断となりましたが、毎朝検温の実施、ドア・机等の消毒を行いました。
- (4) 飛沫感染防止パーテーションを設置し、派遣受付や職員間の感染防止対策を行いました。
- (5) 外部委託業者による事務所等のワックス清掃(8月14日、12月25日)を行いました。
- (6) 3月27日にセンターの産廃回収を宮崎衛生公社に委託し行いました。

(県立聴覚障害者センター利用の満足度調査)

- 調査期間:2024年12月1日～2025年1月31日
調査対象:県立聴覚障害者センター来所者およびイベント参加者
回答数 :158人
- 調査期間:2025年2月20日～3月14日
調査対象:26市町村
回答市町村 :23市町村

3. 県立聴覚障害者センターにおける聴覚障がい者に関する啓発事業の企画運営業務

- (1) 7月21日(日)2024 手話サマーフェスティバル開催
 - ① 会場 宮崎公立大学 講堂棟・講義室(101、1012、103)、学生食堂
 - ② 参加者 県内各地から約600名
 - ③ 内容 講堂:発表
講義室:体験、展示、販売
学生食堂:食べ物、飲み物等販売、体験コーナー

(2) 9月23日(月)手話言語の国際デーに伴う「ブルーライトアップ」実施

実施会場および期日

市町村	実施場所	実施期間・時間
高千穂町	真名井の滝	9月17日(火)～9月23日(月・振替休日)18:00～22:00 「高千穂ブルーライトアップツアー」を実施
延岡市	城山城跡	9月9日(月)19:00～9月18日(水)19:00(日没)～22:00
都農町	JR 都農駅	9月20日(金)～9月23日(月・振替休日)18:00～22:00 実施期間中はブルーライトアップが「手話言語の国際デー」の周知のためであることをお知らせするチラシを作成し、貼り出しました。
西都市	西都市役所庁舎前	9月23日(月・振替休日)18:30～20:00
宮崎市	宮崎県立聴覚障害者センター	9月23日(月・振替休日)19:00(日没)～21:00
	宮崎県庁	9月23日(月・振替休日)日没～20:00
	宮崎市市民プラザ 正面入り口	9月23日(月・振替休日)18:00～20:00

(3)12月28日(土)県立聴覚障害者センター餅つき大会

参加者 下記の各種行事に延べ200人が参加し年末の交流を深めました。

- 餅つき大会
石臼、杵、もち米 県聴覚障害者協会会員さんからのご提供
- ぜんざい振る舞い
聴覚障害者協会女性部(7名)が視覚障害者センター調理室で作り来場者に提供
- 豚汁
聴覚障害者協会女性部(7名)が視覚障害者センター調理室にて調理販売
- ミニ門松
30名(聞こえない、聞こえる子ども、家族)
- 映画「沈黙の50年」映画鑑賞
午前 52名
午後 26名
合計 78名

(4)恵方巻き作り・節分大会案内

- 期日 2月15日(土)11:30~14:00
- 会場 県立聴覚障害者センター
11:30 県立聴覚障害者センター集合
12:00 長い恵方巻き作りにチャレンジ
13:00 節分
- 参加者 151名 (聴覚障がい者、手話、要約関係者、一般県民)

4. 聴覚障害者用字幕(手話)入りビデオカセットテープ・DVD の製作に関する業務

(1)聴覚障がい者用字幕(手話)入りDVD等の貸出に関する業務

- ① 貸出利用者数 9人
- ② 貸出本数 26本
- ③ 貸出利用状況

	分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度実績	前年度比較
利用者数	ろう者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	6	50.0%
	聴者	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	4	6	66.7%
	団体	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	2	100.0%
	合計	2	1	0	0	1	1	0	2	0	0	0	2	9	14	64.3%
貸出本数	ろう者	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	9	42	21.4%
	聴者	2	0	0	0	2	5	0	1	0	0	0	0	10	29	34.5%
	団体	0	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	7	4	175.0%
	合計	5	6	0	0	2	5	0	2	0	0	0	6	26	75	34.7%

(2)DVD 作製

①全国手話通訳者統一試験

・採点用DVD1~20番 97分 ・採点用DVD21~43番 97分

② 宮崎県耳の日記念大会

・投影用撮影 ・記録用撮影

5. 手話奉仕員、要約筆記者の育成及び派遣に関する業務

県立聴覚障害者センターにおいて手話通訳者等の養成カリキュラムに沿って下記の講座を実施しました。

(1) 手話通訳者養成講座実績

地域	会 場	実施日	時間・内容	手話講習会修了者数		
				通訳Ⅰ	通訳Ⅱ	通訳Ⅲ
延岡市	延岡社会福祉センター	毎週火曜日	19:00-20:30	12	9	5
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
高千穂町	高千穂町中央公民館	毎週水曜日	20:00-22:00	5	2	—
		4月～3月	通訳Ⅰ			
日向市	日向市総合福祉センター	毎週木曜日	19:00-21:00	7	6	—
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ			
西都市	西都市公民館	毎週金曜日	19:30-21:00	11	—	—
		6月～3月	通訳Ⅲ			
宮崎市	県立聴覚障害者センター	毎週月曜日	13:30-15:30	1	※1	0
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
	宮崎市総合福祉保健センター	毎週月曜日	19:00-21:00	0	※1	1
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
都城市	都城市総合社会福祉センター	毎週火曜日	19:00-21:00	14	15	15
		5月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
小林市	小林社会福祉センター	毎週水曜日	19:00-21:00	10	2	—
		4月～3月	通訳Ⅰ・通訳Ⅱ			
合 計				60	34	21

※1 通訳Ⅱ講座は年度をまたいで実施をしているため修了者なし。

花山手会場、センター会場ともに5月26日に修了式。

(2) 手話通訳者全国統一試験対策学習会

【第1回】

期 日 令和6年4月7日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)

参加者数 14名

【第2回】

期 日 令和6年7月14日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター(視覚障害者センター研修室)

参加者数 25名

【第3回】

期 日 令和6年9月8日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)

参加者数 34名

(3) 手話通訳者全国統一試験

期 日 令和6年12月7日(土)

会 場 県立聴覚障害者センター

受験者数 43名 合格者数 6名

(4) 手話通訳士養成研修会

手話通訳技能認定試験(手話通訳士)合格を目指す手話通訳者を対象に養成研修会を、5月と7月に実施しました。

期日	内容	参加人数
5月18日(土)	筆記試験対策	6名
5月19日(日)	聞き取り通訳試験対策①	4名
7月6日(土)	読み取り通訳試験対策②	5名
7月7日(日)	聞き取り通訳試験対策②	6名

(5) 手話通訳士試験

第35回(令和6年度)手話通訳技能認定試験

試験結果(令和7年1月31日発表)

宮崎県受験者 9人

合格者 1人

【要約筆記者養成】

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。養成カリキュラムに沿った講座を実施しました。

(1) 宮崎会場(手書きコース、パソコンコース:前期)

会 場:県立聴覚障害者センター

期 間:令和6年9月～令和7年3月

(2) 日向会場(手書きコース:後期)

会場:日向市障がい者センターあいとぴあ

期間:令和6年4月～令和6年11月

【受講・修了状況】

地域	コース	受講者	修了者
日向	手書き	7	6
	パソコン	0	0
宮崎市(県のみ)	手書き	8 (1)	0
	パソコン	7 (1)	0

(3) 要約筆記者のための研修

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。

① 要約筆記者新人研修会

新人研修を開き、本県要約筆記者の充実を図ることを目的実施した。

期 日 令和6年4月14日(日)6名・4月21日(日)6名

会 場 県立聴覚障害者センター 研修室

② 要約筆記者講師研修会

月 日	内 容	参加者数
5月19日(日)	手書きコース 実技検証指導 第4・5講	8名
	PCコース 実技検証指導 第4・5講	5名

③ 要約筆記者ステップアップ研修会

要約筆記者に必要な技術、知識を習得するためにステップアップ研修会を開催し、
本県、要約筆記者の充実を図ることを目的に下記の学習会を実施しました。

月 日	内 容	参加者数
8月25日(日)	PCコース:全体投影実技指導	13名
	手書きコース:ノートテイク実技指導	12名
11月17日(日)	手書きコース:ノートテイクの実技指導	10名
	PCコース:ノートテイクの実技指導	10名

④ 要約筆記体験会

期 日 令和6年8月4日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

参加者 手書きコース:30名 PCコース:16名

⑤ 全国統一要約筆記者認定試験対策学習会

標記試験対策として下記の学習会を実施しました。

回数	第1回	第2回	第3回	第4回
日 時	12月15日(日)	1月12日(日)	2月2日(日)	2月9日(日)
手書きコース	2	-	3	-
PCコース	4	5	-	5

⑥ 全国統一要約筆記者認定試験を下記のとおり実施しました。

期 日 令和7年2月16日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

受験者 手書き: 4名 パソコン: 6名

合格者 手書き: 1名 パソコン: 0名

⑦ 要約筆記者指導者養成研修会

「令和6年度要約筆記者指導者養成研修」に県内の要約筆記者 1 名が手書きの基礎コースに参加し、要約筆記者養成の目的や指導方法を学びました。

6. 聴覚障害者に対する相談業務（年間の相談件数 件）

相談種別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	職業	6	3	2	1	5	1	1	0	1	2	0	1	23
2	医療	1	0	4	6	10	1	1	1	2	0	0	1	27
3	年金	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
4	教育	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3
5	住宅	1	2	3	2	1	0	0	0	0	1	0	2	12
6	生活	0	1	2	10	0	1	5	4	0	2	1	0	26
7	人間関係	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

8	保育・育児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	情報・コミュニケーション	1	1	1	1	2	0	2	2	0	1	0	12
10	交通事故等	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
11	手話通訳者派遣	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
12	要約筆記者派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	法律	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	手続き	6	0	5	2	2	3	0	3	3	1	2	31
15	その他	1	3	1	3	1	1	1	26	1	2	1	41
計		18	10	19	25	23	8	10	38	8	9	4	181

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
経路	来所	4	2	3	1	8	2	5	9	0	0	2	8	44
	FAX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	TEL	10	4	9	5	6	1	4	2	3	7	1	0	52
	家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	4	4	7	19	9	5	1	27	5	2	1	1	85
計		18	10	19	25	23	8	10	38	8	9	4	9	181

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
聴覚障害者	11	9	15	22	18	7	7	9	8	8	4	8	126
健聴者	7	1	4	3	5	1	3	29	0	1	0	1	55
計	18	10	19	25	23	8	10	38	8	9	4	9	181

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
性別	男	12	6	14	7	9	6	5	11	8	5	3	4	90
	女	6	4	5	18	14	2	5	27	0	4	1	5	91
計		18	10	19	25	23	8	10	38	8	9	4	9	181

7. 聴覚障害者に対する手話講習、技術訓練その他の教養講習の実施に関する業務

(1) 難聴者との手話学習交流会

目 的 難聴者が手話を通じて豊かなコミュニケーションが実感できることを目的に実施しました。

期 日 毎月 毎週木曜日 10:30～12:00

会 場 県立聴覚障害者センター(第1木曜日 研修室、第2、4 交流ホール)

参加者 難聴者と難聴者とともに手話を通じて交流したい人

難聴者 延べ48名 手話を通じて交流したい 延べ 144名

8. その他知事が必要と認める業務

(1) ホームページ等の運用

毎月 聴覚障がい者、手話、要約筆記等に関する情報を掲示しました。

開設 2001 年 8 月 22 日

アドレス <https://msen2022.sakura.ne.jp/wp/>

(2) 苦情への対応 年度を通じて対応はありませんでした。

	苦情内容	対応状況	備考
1	0		

(3) 要望への対応 年度を通じて対応はありませんでした。

	要望内容	対応状況	備考
1	0		

宮崎県委託事業 聴覚障がい者等福祉推進事業実績報告

1 手話通訳者等養成・指導者研修事業

1. 目的

手話通訳者等養成事業実施要綱に基づき下記の内容で手話通訳者、手話通訳士の養成講座を実施し、聴覚障がい者等の福祉の増進に資することを目的とし実施しました。

2. 手話通訳者養成講座

(1) 実施会場 別添1 参照

県内の手話通訳者派遣事業の充実につなげるために新型コロナウイルス感染防止対策を図りながら下記の地域において実施しました。

(2) 使用教材

手話通訳Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで下記の教材を使用して講座を実施しました。

- ① 手話通訳Ⅰ 「手話通訳Ⅰ ホップ ステップ ジャンプ」
- ② 手話通訳Ⅱ 「手話通訳Ⅱ ホップ ステップ ジャンプ」
- ③ 手話通訳Ⅲ 「手話通訳Ⅲ ホップ ステップ ジャンプ」
- ④ 講義編

(3) 養成時間 120 時間

実技編	手話通訳Ⅰ (48 時間)	講義編	12 時間
	手話通訳Ⅱ (45 時間)		
	手話通訳Ⅲ (15 時間)		

【各種研修会】

■ 養成講師研修会

講座実施に向けた指導内容、指導方法についての学習会を実施し、講座の充実につなげました。

(1) 登録通訳者研修会

期 日 令和7年2月2日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)
対象者 宮崎県内の登録通訳者
参加者数 29 名

(2) 宮崎県手話講習会講師研修会

期 日 令和6年7月29日(土)、7月30日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)
講師 全面改訂テキスト編集作業員 塚原 辰彦氏
参加者数 125 名

(1) 手話通訳者全国統一試験対策学習会

【第1回】

期 日 令和6年4月7日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)
参加者数 14名

【第2回】

期 日 令和6年7月14日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター(視覚障害者センター研修室)
参加者数 25名

【第3回】

期 日 令和6年9月8日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)
参加者数 34名

(2) 手話通訳者全国統一試験

期 日 令和6年12月7日(土)
会 場 県立聴覚障害者センター
受験者数 43名 合格者数 6名

(3) 手話通訳士養成研修会

手話通訳技能認定試験(手話通訳士)合格を目指す手話通訳者を対象に養成研修会を、5月と7月に実施しました。

期日	内容	参加人数
5月18日(土)	筆記試験対策	6名
5月19日(日)	聞き取り通訳試験対策①	4名
7月6日(土)	読み取り通訳試験対策②	5名
7月7日(日)	聞き取り通訳試験対策②	6名

(4) 手話通訳士試験

第35回(令和6年度)手話通訳技能認定試験
試験結果(令和7年1月31日発表)
宮崎県受験者 9人
合格者 1人

【宮崎県手話通訳者養成講座実績】 別表 1

地域	会 場	実施日	時間・内容	手話講習会修了者数		
				通訳Ⅰ	通訳Ⅱ	通訳Ⅲ
延岡市	延岡 社会福祉センター	毎週火曜日	19:00-20:30	12	9	5
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
高千穂町	高千穂町中央公民館	毎週水曜日	20:00-22:00	5	2	—
		4月～3月	通訳Ⅰ			
日向市	日向市 総合福祉センター	毎週木曜日	19:00-21:00	7	6	—
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ			
西都市	西都市公民館	毎週金曜日	19:30-21:00	11	—	—
		6月～3月	通訳Ⅲ			
宮崎市	県立聴覚障害者センター	毎週月曜日	13:30-15:30	1	※1	0
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
	宮崎市総合福祉保健セ ンター	毎週月曜日	19:00-21:00	0	※1	1
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
都城市	都城市 総合社会福祉センター	毎週火曜日	19:00-21:00	14	15	15
		5月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
小林市	小林 社会福祉センター	毎週水曜日	19:00-21:00	10	2	—
		4月～3月	通訳Ⅰ・通訳Ⅱ			
合 計				60	34	21

※1 通訳Ⅱ講座は年度をまたいで実施をしているため修了者なし。
花山手会場、センター会場ともに5月26日に修了式。

2 要約筆記者養成・指導者研修事業

1. 目的

聴覚障害者、とりわけ中途失聴・難聴者の生活及び関連する福祉制度や権利擁護、対人援助等についての理解と認識を深めるとともに、難聴者等の多様なニーズに対応できる要約筆記を行うに必要な知識及び技術の習得することを目的に実施しました。

2. 要約筆記者養成カリキュラム時間数（前期・後期）

84時間以上：必修科目74時間＋選択必修科目10時間以上

必修科目74時間（講義44時間＋実技30時間）

選択必修科目28時間（講義10時間＋実技18時間）

3. 要約筆記者養成講座

要約筆記者養成カリキュラムに沿った講座を実施しました。

（1） 宮崎会場（手書きコース、パソコンコース：前期）

会 場：県立聴覚障害者センター

期 間：令和6年9月～令和7年3月

（2） 日向会場（手書きコース：後期）

会場：日向市障がい者センターあいとびあ

期間：令和6年4月～令和6年11月

【受講・修了状況】

地域	コース	受講者	修了者
日向	手書き	7	6
	パソコン	0	0
宮崎（県のみ）	手書き	1	0
	パソコン	1	0

4. 要約筆記者のための研修

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。

（1） 要約筆記者新人研修会

新人研修を開き、本県要約筆記者の充実を図ることを目的実施した。

期 日 令和6年4月14日（日）6名・4月21日（日）6名

会 場 県立聴覚障害者センター 研修室

（2） 要約筆記者講師研修会

月 日	内 容	参加者数
5月19日（日）	手書きコース 実技検証指導 第4・5講	8名
	PCコース 実技検証指導 第4・5講	5名

(3) 要約筆記者ステップアップ研修会

要約筆記者に必要な技術、知識を習得するためにステップアップ研修会を開催し、本県、要約筆記者の充実を図ることを目的に下記の学習会を実施しました。

月 日	内 容	参加者数
8月25日 (日)	PCコース：全体投影実技指導	13名
	手書きコース：ノートテイク実技指導	12名
11月17日 (日)	手書きコース：ノートテイクの実技指導	10名
	PCコース：ノートテイクの実技指導	10名

(4) 要約筆記体験会

期 日 令和6年8月4日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

参加者 手書きコース：30名 PCコース：16名

(5) 全国統一要約筆記者認定試験対策学習会

標記試験対策として下記の学習会を実施しました。

回数	第1回	第2回	第3回	第4回
日 時	12月15日(日)	1月12日(日)	2月2日(日)	2月9日(日)
手書きコース	2	—	3	—
PCコース	4	5	—	5

(6) 全国統一要約筆記者認定試験を下記のとおり実施しました。

期 日 令和7年2月16日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

受験者 手書き： 4名 パソコン： 6名

合格者 手書き： 1名 パソコン： 0名

(7) 要約筆記者指導者養成研修会

「令和6年度要約筆記者指導者養成研修」に県内の要約筆記者1名が手書きの基礎コースに参加し、要約筆記者養成の目的や指導方法を学びました。

3 手話通訳者等派遣事業

事業所等が主催する行事に配置する手話通訳者等の派遣を実施しました。

No.	担当課	催事内容	人数	備考
1	広域連携課	各県知事による会議の記者会見における 手話通訳（日本創生のための将来世代応援知事同盟サミット in みやざき）	2	手話通訳者2名
2	人権同和教育課	令和6年度第1回県立学校人権教育担当者研修会	2	手話通訳者2名
3	スポーツ振興課	令和6年度みやざき県民総合スポーツ祭 総合開会式	2	手話通訳者2名
4	危機管理課	防災士養成研修 基礎コース	4	手話通訳者4名
5	生涯学習課	読書県みやざきシンポジウム「みやざき 読（よみ）フェス2024」	2	手話通訳者2名
6	危機管理課	防災士養成研修の救急救命講習	2	手話通訳者2名
7	文化財課	みやざき KAGURA フェスティバル2024	2	手話通訳者2名
8	雇用労働政策課	第62回技能五輪全国大会及び第44回 全国障害者技能競技大会 選手激励式	2	手話通訳者2名
9	危機管理課	令和6年度宮崎県防災士養成研修（専門 コース）	6	手話通訳者6名
10	スポーツ振興課	令和6年度全国学校保健・安全研究大会	2	手話通訳者2名
11	福祉保健課	令和6年度宮崎県社会福祉大会	3	手話通訳者3名
12	スポーツ振興課	第65回全国スポーツ推進委員研究協議 会宮崎大会	8	手話通訳者8名
13	スポーツ指導センター	令和6年度運動部活動指導者研修会	4	手話通訳者4名

14	人権同和教育課	令和6年度第2回県立学校人権教育担当者研修会	3	手話通訳者3名
15	危機管理課	令和6年度宮崎県防災士養成研修（防災士認証交付式）	2	手話通訳者2名
合 計			46 名	

4 手話通訳者及び要約筆記者の健康に関する相談対応事業

1. 目的

本県の聴覚障害者の社会参加を支える手話通訳者・要約筆記者の健康と安全を確保することを目的に下記の事業を行いました。

2. 事業内容

(1) 手話通訳者・要約筆記者 健康調査実施

特殊検診実施対象者に対し事前に健康調査を送付し、その内容を基に検診を行いました。

(2) 手話通訳者・要約筆記者に対する特殊検診実施

① 受診状況

検診日	曜日	手話通訳者	要約筆記者	受診者数
8月17日	土曜日		4	4
8月18日	日曜日		3	3
3月15日	土曜日	2		2
合計		2	7	9

(2) 医療機関との連携

効果的な特殊検診実施に向けて医療機関（獅子目整形外科 獅子目亨医師）とメールおよび文書にて効果的な特殊検診実施のために下記の情報提供を行いました。

（打合せ内容）

- 1) 要検診対象者の振り分け基準
- 2) 特殊検診実施内容
- 3) 検診日時

手話通訳設置事業報告書

1. 目的

身体障がい者福祉に理解と熱意を有する手話技術を習得した手話通訳者を設置し、聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行い、もってその福祉の増進を図ることを目的として手話通訳設置事業を実施しました。

2. 実施の方法

専任者を採用し、社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会事務所に常駐させ、下記の内容の業務に当たりました。

3. 業務内容は次のとおり。

- (1) 県関係の手話通訳全般
- (2) 意志疎通支援事業の推進と指導
- (3) 関係機関・聴覚障がい者等からの依頼に応える手話通訳および手話通訳者
- (4) 手話関係事業の事務整理・連絡
- (5) 聴覚障がい者等の支援等についての相談等を関係機関に伝達するための仲介
- (6) 民生委員、医療機関等、日常生活における相談、支援等を行う機関からの依頼に応える手話通訳
- (7) 遠隔手話サービスの利用促進に向けた普及啓発

4. 通訳実績

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1 職業・労働	2	2	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	9
2 手続き	4	0	4	2	2	3	1	3	3	1	2	4	29
3 縁談・結婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 家族関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 育児・保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 住宅・住居	1	3	2	2	0	1	0	0	0	1	0	2	12
8 保健・医療	1	1	3	3	10	1	1	1	2	0	0	1	24
9 集会	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3
10 選挙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 警察	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
12 裁判	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13 会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 講習会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 その他	2	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	9
計	10	7	10	9	16	6	3	4	6	6	3	7	87

5. 遠隔手話サービス利用実績

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
医療	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議・集会	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	3

医療 コロナ疑いのある聴覚障がい者の診察のための利用

生活 経済的に困窮し生きづらくなっている一人暮らしの聴覚障がい者の安否確認のためにタブレットを1週間程度預けて毎日の生活状況の確認を行いました。

会議・集会 遠方の参加者のための情報保障としてタブレットを使用して実施しました。

盲ろう者向け通訳・介助員養成・指導者研修事業実績報告

1. 盲ろう者向け通訳・介助員養成講座

盲ろう者向け通訳・介助員養成カリキュラムをもとに本県の盲ろう者の社会参加促進のための効果的な事業を下記のとおり実施しました。

(1) 日向会場

- ①日 付 6月15日(土)、7月6日(土)、7月13日(土)、7月27日(土)、
9月21日(土)
- ②会 場 日向市障がい者センター「あいとぴあ」
- ③修了者 10名

(2) えびの会場

- ①日 付 9月7日(土)、9月14日(土)、9月28日(土)、10月19日(土)、
10月26日(土)
- ②会 場 県立聴覚障害センター 交流ホール
- ③修了者 11名

2. 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会受講者推薦

Web 会議サービス「Zoom」を利用したオンライン研修として実施された。

- (1) 日 程：2024年10月19日(土) 10月26日(土)
11月10日(日) 12月21日(土)

- (2) 場 所：自宅にて受講

- (3) 受講者：岡原 直美 氏(小林市)

令和6年度 県立高等学校生活支援員配置事業 実績報告

1. 目的

県立高等学校に在籍する聴覚に障がいのある生徒が、教育課程を円滑に履修できるように必要に応じて支援を行う生活支援員を配置し、教育の機会均等を保障する。

2. 業務委託先契約先並びに対象者（聴覚に障がいのある生徒）

- ・宮崎県立妻高等学校 1 名（3 年生） ・宮崎県立都城西高等学校 1 名（2 年生）
- ・宮崎県立宮崎西高等学校 1 名（1 年生）・宮崎県立宮崎工業高等学校 1 名（1 年生）

3. 支援実績

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
妻	人員	7	6	8	7	5	7	7	8	6	4	5	2	72
	日数	12	16	18	11	4	17	19	16	16	6	5	1	141
	時間	63.25	82.75	96.25	61.75	16	90	101	90.25	64	18	17.25	5.5	706
都城西	人員	6	4	4	4	0	4	3	4	3	4	3	4	43
	日数	11	16	15	11	0	14	14	14	9	16	7	8	135
	時間	60	86.5	79	60	0	72.5	63.75	82	47	86.5	25.75	41	704
宮崎西	人員	7	8	7	7	8	8	9	5	7	9	6	6	89
	日数	12	12	15	16	8	12	15	12	19	15	7	9	152
	時間	65.75	55.5	69.75	69.75	27.75	53.25	59.75	53.5	86	64.25	23.25	34.25	662.75
宮崎工業	人員	9	7	7	9	0	10	9	6	3	5	0	0	65
	日数	12	16	16	12	0	19	19	11	6	5	0	0	116
	時間	55.5	53.5	46.75	41	0	65	60.75	19.75	11.25	13	0	0	366.5

年間支援限度時間：900 時間

※各学校に5～6名の支援員をメインに、1日1名～2名の支援員配置で、1名が3限～5限を担当した。関係者会議を開き、その時間も支援に含めていただいた。

4. 関係者会議

- ・妻高校 2回（令和6年4月8日、令和7年2月20日）
- ・都城西高校 1回（令和6年4月9日）
- ・宮崎西高校 2回（令和6年4月5日、8月1日）
- ・宮崎工業高校 2回（令和6年4月4日、7月26日）

※本年度は4校と契約し支援員の調整を行った。各学校の先生方との顔合わせの時間を設けていただき、支援員の役割を説明することができた。特に新規の宮崎西と宮崎工業は、関係者会議や研修会を開き情報共有して支援に臨んだ。また、妻高3年生の生徒は、大学進学が決まり進路実現を果たせた。

令和6年度宮崎市 情報保障・コミュニケーション支援事業報告

1 宮崎市手話通訳者・要約筆記者派遣事業

【手話通訳者派遣事業】

1. 目的

聴覚障がい者等が日常生活及び社会生活において手話通訳を必要とする際に、手話通訳者を派遣しコミュニケーションの仲介を行うことにより、聴覚障がい者の社会参加促進及び福祉の向上を目指すことを目的として手話通訳者派遣を実施しました。

2. 登録手話通訳者研修会

期 日 2024（令和6）年9月1日（日）10：00～15：00

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 「報告書から見えてくること・現場で起こっていること（グループ討議）」

参加者 25名

3. 登録手話通訳者学習会

期 日 2025（令和7）年2月2日（日）10：00～12：30

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 「手話通訳者、要約筆記者の現場から
～手話から文字への連携～手話の読み取りと要約筆記」

参加者 22名

4. 運営委員会

期 日 2024（令和6）年6月28日（金）18：30～

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 2023（令和5）年度活動報告・収支決算について
2024（令和6）年度活動計画・収支予算について

出席者 13名

5. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣実績	82	66	76	55	75	64	62	59	68	47	55	50	759	63.3
通訳者	17	15	16	15	18	12	13	14	13	12	14	13	172	14.3
対象者数	31	26	36	29	34	28	34	31	31	22	27	28	357	29.8
派遣時間	157.5	113.5	19.5	79.5	122.5	98.5	93.5	92.5	115.0	77.5	85.0	82.5	1237.0	103.1

（1）通訳派遣件数

① 年間 759件 昨年度比 98.8%（昨年度の派遣件数：768件）

② 月平均 63.3 件

（2）利用者数

① 年間 357名

② 月平均 29.8名 昨年度比 102.1%（昨年度 29.2名）

（3）派遣時間

①月平均 103.1 時間

(4) 派遣した通訳者

①月平均 14.3 名

6. 派遣内容

集会・講演	13	冠婚・葬祭	10	学校・教育	16	介護	2
会議	12	司法・警察	10	育児・保育	0	その他	41
住宅・住居	13	医療・保健	535	家族関係	0		
スポーツ・レクリエーション	1	職業・労働	78	手続	28	合計	759

※派遣の内容は、「医療・保健」が7割を占め、次いで「職業・労働」、「その他」、「手続」、「学校・教育」、「集会・講演」、「住宅・住居」、「会議」、「冠婚・葬祭」、「司法・警察」、「介護」、「スポーツレクリエーション」となりました。

7. まとめ

手話通訳者統一試験合格者等3名で3月31日現在の登録手話通訳者は48名です。派遣については、利用者の希望に添い通訳者を選任していますが、通訳者の負担軽減に配慮したコーディネートを行いました。利用者の高齢化により医療機関の手話通訳派遣や生活場面での困りごとに対する派遣も増加しています。聴覚障がい者の充実した日常生活実現のための派遣を今後も行っていきます。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、三密を避けるよう呼びかけや通訳者等へマスク着用について利用者へ理解を求めました。

年々、派遣を通じて相談支援の内容も増加していることから手話通訳者の支援技術の向上を目的にした研修を行います。

【要約筆記者派遣事業】

1. 目的

聴覚障がい者等が日常生活及び社会生活において要約筆記を必要とする際に、要約筆記者を派遣しコミュニケーションの仲介を行うことにより、聴覚障がい者の社会参加促進及び福祉の向上を目指すことを目的として要約筆記者派遣を実施しました。

2. 登録要約筆記者研修会

期 日 2024（令和6）年9月1日（日）10：00～15：00
会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール
内 容 「報告書から見えてくること・現場で起こっていること（グループ討議）」
参加者 8名

3. 登録要約筆記者学習会

期 日 2025（令和7）年2月2日（日）10：00～12：30
会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール
内 容 「手話通訳者、要約筆記者の現場から
～手話から文字への連携～手話の読み取りと要約筆記」
参加者 8名

4. 運営委員会

期 日 2024（令和6）年6月28日（金）18：30～
会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール
内 容 2023（令和5）年度活動報告・収支決算について
2024（令和6）年度活動計画・収支予算について
出席者 13名

5. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣実績	2	6	5	5	2	8	5	3	1	1	1	3	42	3.5
通訳者	1	6	3	4	2	6	5	3	1	1	1	2	35	2.9
対象者数	1	4	2	3	1	4	2	1	1	1	1	1	22	1.8
派遣時間	3.5	9.5	7.5	7.5	2.5	15.5	9.0	5.5	1.5	1.0	1.0	4.0	68.0	5.7

（1）通訳派遣件数

- ① 年間 42件 昨年度比 82.4%（昨年度の派遣件数：51件）
- ② 月平均 3.5件

（2）利用者数

- ① 年間 22名
- ② 月平均 1.8名 昨年度比 100%（昨年度 2.3名）

（3）派遣時間

- ① 月平均 5.7時間

（4）派遣した通訳者

- ① 月平均 2.9名

6. 派遣内容

集会・講演	4	冠婚・葬祭	0	学校・教育	0	介護	0
会議	16	司法・警察	0	育児・保育	0	その他	3
住宅・住居	0	医療・保健	13	家族関係	0		
スポーツ・レクリエーション	0	職業・労働	4	手続	2	合計	42

※派遣の内容は、「会議」が4割弱の16件、「医療・保健」が13件、「集会」4件、「職業・労働」が4件、「その他」が3件、「手続」が2件でした。

7. まとめ

要約筆記者統一試験合格者等0名で3月31日現在の登録要約筆記者は27名となっています。また、新型コロナウイルス感染防止のため、三密を避けるよう席を1つずつ空けて座るなど利用者へ理解を求めました。

要約筆記の派遣実績は月に4件程度です。中途失聴、難聴者の派遣利用の拡大を図るための県民に対する周知を今後も粘り強く行っていきます。要約筆記が付くことにより中途失聴、難聴者の社会参加実現につながることを実感できる機会を広げるとともに、要約筆記者人材育成を効果的な県民への働きかけを行います。

2. 手話奉仕員等養成事業実績報告

1. 目的

宮崎市手話奉仕員等養成事業実施要綱に基づき下記の内容で手話奉仕員及び手話通訳者、手話通訳士の養成講座を実施し、聴覚障がい者等の福祉の増進に資することを目的とし実施しました。

2. 運営委員会設置

「宮崎市手話奉仕員等養成事業に関する運営委員会」を設置し、宮崎市における手話奉仕員等養成事業の効果的な運営を図った。

(1) 第1回運営委員会

期 日 令和6年12月24日(木)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 11名

3. 手話奉仕員養成講座

(1) 実施会場 別表1参照

① 宮崎市総合福祉保健センター

② 宮崎市清武総合福祉センター

③ 県立聴覚障害者センター

(2) 使用教材

『新手話教室入門』と『手話教室基礎』の内容が1冊に盛り込まれた厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応の「手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう」をテキストとして使用し実施しました。

(3) 養成時間 70時間

実技編 入門課程(27時間) 基礎課程(33時間)

講義編 10時間

4. 手話通訳者養成講座

(1) 実施会場 別表1参照

① 宮崎市総合福祉保健センター

② 県立聴覚障害者センター

(2) 使用教材

手話通訳Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで下記の教材を使用して講座を実施しました。

① 手話通訳Ⅰ 「手話通訳Ⅰ ホップ ステップ ジャンプ」

② 手話通訳Ⅱ 「手話通訳Ⅱ ホップ ステップ ジャンプ」

③ 手話通訳Ⅲ 「手話通訳Ⅲ ホップ ステップ ジャンプ」

④ 講義編

(3) 養成時間 120時間

実技編 手話通訳Ⅰ(48時間) 手話通訳Ⅱ(45時間) 手話通訳Ⅲ(15時間)

講義編 12時間

(4) 養成講師研修会

講座実施に向けた指導内容、指導方法についての学習会を実施し、講座の充実につなげました。

【1】宮崎県手話講習会講師研修会 参加費無料

期 日 令和6年7月29日(土)、7月30日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)

講師 全面改訂テキスト編集作業員 塚原 辰彦氏

参加者数 125名

(5) 手話通訳者全国統一試験対策学習会 参加費無料

【第1回】

期 日 令和6年4月7日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)

参加者数 14名

【第2回】

期 日 令和6年7月14日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター(視覚障害者センター研修室)

参加者数 25名

【第3回】

期 日 令和6年9月8日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)

参加者数 34名

(7) 手話通訳者全国統一試験

期 日 令和6年12月7日(土)

会 場 県立聴覚障害者センター

受験者数 43名

合格者数 6名 有川加奈子(宮崎市) 加持千佳(西都市) 鶴留裕子(宮崎市)
海野千尋(宮崎市) 竹尾陽子(宮崎市) 高橋祐哉(宮崎市)

(8) 手話通訳士試験 受講料¥22,000

第35回(令和6年度)手話通訳技能認定試験 試験結果(令和7年1月31日発表)

宮崎県受験者 9名

合格者 1名

5. 手話通訳士養成講座 参加費無料

手話通訳技能認定試験（手話通訳士）合格を目指す手話通訳者を対象に養成研修会を、5月と7月に実施した。

期日	内容	参加人数
5月18日（土） 13:00～16:00	筆記試験対策	6名
5月19日（日） 10:00～16:00	聞き取り通訳試験対策①	4名
7月6日（土） 13:00～16:00	読み取り通訳試験対策②	5名
7月7日（日） 10:00～16:00	聞き取り通訳試験対策②	6名

【宮崎市手話奉仕員及び手話通訳者養成講座実績】 別表 1

	奉仕員			通訳Ⅰ			通訳Ⅱ			通訳Ⅲ				
会 場	受講 申込	修了 者数	令和 6 年 度末 登録 者数	受講 申込	修了 者数	令和 6 年 度末 登録 者数	受講 申込	修了 者数	令和 6 年 度末 登録 者数	受講 申込	修了 者数	令和 6 年度末 登録者 数		
宮崎市総合福祉 保健センター	63	44	591	23	22	304	22	※1	230	18	16	221		
県立聴覚障害者 センター	31	23		12	11		10	※1		10	10			
清武総合福祉 センター	21	16		—			—			—				
合計	115	83		35	33		31			28	26			

※1 通訳Ⅱ講座は年度をまたいで実施をしているため修了者なし。
花山手会場、センター会場ともに5月26日に修了式。

3 要約筆記者養成・指導者研修事業

1. 目的

聴覚障害者、とりわけ中途失聴・難聴者の生活及び関連する福祉制度や権利擁護、対人援助等についての理解と認識を深めるとともに、難聴者等の多様なニーズに対応できる要約筆記を行うに必要な知識及び技術の習得することを目的に実施しました。

2. 要約筆記者養成カリキュラム時間数（前期・後期）

84時間以上：必修科目74時間＋選択必修科目10時間以上

必修科目74時間（講義44時間＋実技30時間）

選択必修科目28時間（講義10時間＋実技18時間）

3. 要約筆記者養成講座

要約筆記者養成カリキュラムに沿った講座を実施しました。

（1）宮崎会場（手書きコース、パソコンコース：前期）

会 場：県立聴覚障害者センター

期 間：令和6年9月～令和7年3月

【受講・修了状況】

地域	コース	受講者	修了者
宮崎市	手書き	8	0
	パソコン	7	0

4. 要約筆記者のための研修

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。

（1）要約筆記者新人研修会

新人研修を開き、本県要約筆記者の充実を図ることを目的実施した。

期 日：令和6年4月14日（日）6名・4月21日（日）6名

会 場：県立聴覚障害者センター 研修室

（2）要約筆記者講師研修会

月 日	内 容	参加者数
5月19日（日）	手書きコース 実技検証指導 第4・5講	8名
	PCコース 実技検証指導 第4・5講	5名

(3) 要約筆記者ステップアップ研修会

要約筆記者に必要な技術、知識を習得するためにステップアップ研修会を開催し、本県、要約筆記者の充実を図ることを目的に下記の学習会を実施しました。

月 日	内 容	参加者数
8月25日 (日)	PCコース：全体投影実技指導	13名
	手書きコース：ノートテイク実技指導	12名
11月17日 (日)	手書きコース：ノートテイクの実技指導	10名
	PCコース：ノートテイクの実技指導	10名

(4) 要約筆記体験会

期 日 令和6年8月4日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

参加者 手書きコース：30名 PCコース：16名

(5) 全国統一要約筆記者認定試験対策学習会

標記試験対策として下記の学習会を実施しました。

回数	第1回	第2回	第3回	第4回
日 時	12月15日(日)	1月12日(日)	2月2日(日)	2月9日(日)
手書きコース	2	—	3	—
PCコース	4	5	—	5

(6) 全国統一要約筆記者認定試験を下記のとおり実施しました。

期 日 令和7年2月16日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

受験者 手書き： 4名 パソコン： 6名

合格者 手書き： 1名 パソコン： 0名

(7) 要約筆記者指導者養成研修会

「令和6年度要約筆記者指導者養成研修」に県内の要約筆記者1名が手書きの基礎コースに参加し、要約筆記者養成の目的や指導方法を学びました。

4 手話ビデオ等作製事業実績報告

1. 事業目的

市広報紙の情報を手話ビデオ化することによって、情報が容易に得られるようにし、聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者の読解力及び情報不足を補う。

	題 目	本数	分	取扱	複製数	備考
1	市広報「みやざき」手話ビデオ 4月号 (No.332)	1	41	納品	31	V3+D28
2	市広報「みやざき」手話ビデオ 5月号 (No.333)	1	24	納品	31	V3+D28
3	市広報「みやざき」手話ビデオ 6月号 (No.334)	1	36	納品	31	V3+D28
4	市広報「みやざき」手話ビデオ 7月号 (No.335)	1	36	納品	31	V3+D28
5	市広報「みやざき」手話ビデオ 8月号 (No.336)	1	33	納品	31	V3+D28
6	市広報「みやざき」手話ビデオ 9月号 (No.337)	1	29	納品	31	V3+D28
7	市広報「みやざき」手話ビデオ 10月号 (No.338)	1	32	納品	30	V3+D28
8	市広報「みやざき」手話ビデオ 11月号 (No.339)	1	30	納品	29	V3+D28
9	市広報「みやざき」手話ビデオ 12月号 (No.340)	1	34	納品	28	V3+D28
10	市広報「みやざき」手話ビデオ 1月号 (No.341)	1	32	納品	28	V3+D28
11	市広報「みやざき」手話ビデオ 2月号 (No.342)	1	36	納品	28	V3+D28
12	市広報「みやざき」手話ビデオ 3月号 (No.343)	1	37	納品	28	V3+D28
	合 計	12	400		357	

■貸出状況

取扱先（配布数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宮崎市障がい福祉課(1)	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	7
市社会福祉協議会(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市聴覚障害者協会(4)	0	2	0	2	1	2	2	0	0	0	0	0	9
県立聴覚障害者センター(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	3	1	3	2	2	3	0	1	0	0	0	16

■送付状況

計	23	23	23	23	23	23	22	21	20	20	20	20	261
---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

■出演者数

計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

その他の取り組み

- ・毎月、出演者と手話表現に関する打合せを行った。

成果と課題

- ・毎月、「市広報みやざき」内の2項目～3項目を手話ビデオとして作成することができた。
- ・完成時期が遅れがちなので可能な限り早く完成させたい。

5 手話通訳者設置事業

1. 目的

身体障がい者の福祉に理解と熱意を有する手話技術を習得した手話通訳士を設置し、聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者の家庭及び社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行い、もって福祉の増進を図ることを目的として実施しました。

2. 対象者

宮崎市在住の聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者

3. 事業内容

手話通訳者は、聴覚障がい者等に対する手話通訳業務を主とする、次に掲げる業務を行った。

- (1) 手話通訳者設置場所における、聴覚障がい者等に対する手話通訳業務
 - (2) 聴覚障がい者等に対する簡易な相談支援業務
 - (3) 聴覚障がい者等に対する簡易な生活支援業務
 - (4) 聴覚障がい者等の更生援護についての相談等に関し、その要件の主旨を援護機関に伝達するための仲介業務
 - (5) 日常生活上における聴覚障がい者等の援護に関する相談、指導等に関し、宮崎市期間相談センター及び宮崎市社会福祉協議会（以下「関係機関」という。）からの要請に基づく手話通訳業務
 - (6) その他市民に向けた情報発信に係る手話通訳業務
- （設置場所）
宮崎市役所又は受託事業所内

4. 実績

種 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	全体の中の 割合	前年度実績	前年度比較
1	職業・労働	5	4	2	2	2	6	3	1	0	1	0	0	26	5.0%	66	39.4%
2	手続き	2	17	8	26	7	8	5	4	4	13	10	9	113	21.9%	158	71.5%
3	生活面	24	17	16	14	10	12	14	14	10	8	9	15	163	31.6%	264	61.7%
4	家族関係	6	2	0	0	1	0	2	2	0	2	0	1	16	3.1%	29	55.2%
5	育児・保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	
6	教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	
7	住宅・住居	0	2	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	9	1.7%	0	
8	保健・医療	4	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	8	1.6%	36	22.2%
9	集会・会議	2	3	1	1	1	2	1	1	1	1	5	1	20	3.9%	29	69.0%
10	選挙	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0.4%	6	33.3%
11	警察・裁判	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	3	0.0%
12	講習会(手話)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	3	0.0%
13	友人関係	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3	0.6%	9	33.3%
14	冠婚葬祭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	29	0.0%
15	その他	11	15	15	18	17	14	10	13	19	8	5	11	156	30.2%	155	100.6%
	計	54	61	47	63	40	43	38	35	34	33	30	38	516		787	65.6%

令和6年度市町村手話通訳者・要約筆記派遣事業実績

県内26市町村のうち19市町村(4市12町3村)と「手話通訳者等及び要約筆記者派遣事業」の委託契約

市町村名		年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宮 崎 市	令和6年度	手話		82	66	76	55	75	64	62	59	68	47	55	50	759
				62	58	90	55	45	60	64	77	71	54	67	65	768
	令和5年度	要約		2	6	5	5	2	8	5	3	1	1	1	3	42
				3	2	5	4	3	5	6	3	2	2	11	5	51
西 都 市	令和6年度	手話		1	1	2	2	1	1	0	2	0	2	0	3	15
	令和5年度			0	0	1	1	3	0	1	1	0	1	1	3	12
日 南 市	令和6年度	手話		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和5年度			0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
串 間 市	令和6年度	手話		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和5年度			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西諸県郡	高原町	令和6年度	手話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		令和5年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東諸県郡	国 富 町	要約		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	0	1	12
		手話		1	2	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1	10
				0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	綾 町	令和6年度	手話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		令和5年度		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
児湯郡	高 鍋 町	手話		5	1	2	3	3	8	2	5	1	3	7	1	41
				2	4	1	4	1	0	2	2	4	2	0	0	22
		要約		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
				0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	新 富 町	手話		0	0	0	0	2	6	5	2	0	4	0	0	19
				0	0	6	3	1	0	1	5	0	2	0	0	18
	西米良村	手話		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木 城 町	手話		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	川南 町	手話		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
																0
	都 農 町	手話		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東臼杵郡	美郷町	手話		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	椎葉村	手話		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
				0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	諸 塚 村	手話		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西臼杵郡	高千穂町	手話		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				0	0	0	1	2	2	2	2	0	0	0	0	9
	日之影町	手話		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五ヶ瀬町	手話		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	令和6年度	手話		89	70	81	60	81	80	71	69	70	58	62	55	846
				65	63	102	64	52	63	70	87	75	59	68	68	836
	令和5年度	要約		2	6	7	5	2	8	5	3	1	1	1	3	44
				4	3	6	9	4	6	7	4	3	4	11	6	67
合計	令和6年度	手話・要約		91	76	88	65	83	88	76	72	71	59	63	58	890
	令和5年度			69	66	108	73	56	69	77	91	78	63	79	74	903

当協会と契約外の市町村手話通訳者・要約筆記派遣事業実績

市町村名	年度		計	市町村名	年度		計	市町村名		年度		計	
延岡市	令和6年度	手話	286	日向市	令和6年度	手話	188	えびの市		令和6年度	手話	295	
	令和5年度		313		令和5年度		196						
	令和6年度	要約	0		令和6年度	要約	4	北諸県郡	三股町	令和6年度	手話	2	
	令和5年度		9		令和5年度		10			令和5年度		2	
都城市	令和6年度	手話	377	小林市	令和6年度	手話	96	東臼杵郡	門川町	令和6年度	手話	1	
	令和5年度		345		令和5年度		120			令和5年度		2	
	令和6年度	要約	2		令和6年度	要約	2						
	令和5年度		1		令和5年度		0						

市町村手話奉仕員養成事業実績報告

1. 目的

市町村において下記の内容で手話奉仕員の養成講座を実施し、聴覚障がい者等の福祉の増進に資することを目的とし実施しました。

(1) 実施会場及び実績

別表 1

(2) 使用教材

『新手話教室入門』と『手話教室基礎』の内容が 1 冊に盛り込まれた厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応の「手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう」をテキストとして使用し実施しました。

(3) 手話体験会

手話講習会を実施できない市町村においてオンラインまたは対面により体験会を開き手話の普及に努めました。

(4) 市町村訪問

10月末から1か月間、全市町村を訪問しました。内容としては講師謝金単価を宮崎市と同じ1時間1800円＋交通費を要望。また、2025年度は全面改訂テキストになりますので手話動画視聴のための環境整備（Wi-Fi環境を整えること、難しい場合はDVD購入のお願い）、手話講習会の現状報告、2027国スポ・障スポに向けた取り組み等を協議しました。

その結果、事業を契約している市町村からほぼ要求額通りの委託金となりました。

2. 市町村手話奉仕員養成事業及び手話通訳者養成講座実績 別表1

町村		実施日	手話講習会 修了者数	実施方法
高千穂	高千穂町 中央公民館	-	-	休講
日之影町	宮水小学校	8月7日(水) 13:30-15:00	-	対面
	日之影町 役場	9月27日(水) 19:00-21:00		
椎葉村	椎葉中学校	3月10日(火) 10:00-12:00	-	対面
川南町	川南町老人会館	毎週水曜日	0	
		19:30-21:00	※2年で実施の ため修了者なし	
新富町	新富町 総合交流センター	-	-	休講
木城町	木城町 福祉センター	毎週木曜日	1	
		19:30-21:00		
高鍋町	高鍋老人福祉会館	毎週火曜	0	
		19:30-21:00	※2年で実施の ため修了者なし	
西米良村	村所小学校	5月21日(火) 9:00-9:45	-	対面
国富町	国富町農村 環境改善 センター	毎週金曜日 19:00-20:30	10	
綾町	綾町教育委員会 2階会議室			
日南市	日南市役所	毎週水曜日	13	
		19:00-21:00		
えびの市	えびの市 文化センター	毎週木曜日	11	
		19:30-21:00		
合計				

通訳者派遣事業実績報告書

企業・団体等からの依頼による手話通訳者・要約筆記者の派遣実績

1. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手話通訳	5	8	11	16	15	6	14	10	11	15	11	7	129
活動人数	7	13	16	39	27	12	27	17	25	43	20	13	261
派遣時間	11.7	16.8	18.5	52.3	38.9	16.2	38.0	30.4	36.3	70.5	25.5	14.3	369.4
要約筆記	2	1	2	0	1	0	1	1	2	5	0	2	17
活動人数	5	2	4	0	4	0	2	3	6	15	0	7	48
派遣時間	4.5	3.1	4.8	0	5.0	0	6.0	3.8	8.8	20.0	0	5.3	61.3
合計	7	9	13	16	16	6	15	11	13	20	11	9	146
キャンセル			2	1				1					4

2. 派遣内容

項 目	累計	項 目	累計	項 目	累計	項 目	累計
集会・講演	71	司法・警察	2	冠婚・葬祭	1	知事会見	18
会 議	7	医療・保健	23	育児・保育	0	そ の 他	21
住宅・住居	0	職業・労働	2	家族関係	0		
入 宿 - ツ クリエーション	1	学校・教育	0	手 続	0	合 計	146

2024（令和6）年度 第19回全国手話検定試験事業（自主事業）

1、全国手話検定試験説明会及び学習会は、個別対応した。

2、第19回全国手話検定試験

会場	県立聴覚障害者センター						
級	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	計
期日	10月12日(土)		10月13日(日)		10月19日(土)		
申込数	50	29	48	21	5	7	160
受験者数	43	29	46	18	4	6	146
合格者数	42	29	41	16	4	4	136

会場	延岡市社会福祉センター						
級	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	計
期日	10月12日(土)		10月13日(日)		10月19日(土)		
申込数	8	31	19				58
受験者数	8	29	18				55
合格者数	7	29	16				52

会場	都城市総合社会福祉センター						
級	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	計
期日	10月12日(土)		10月13日(日)		10月19日(土)		
申込数	18	17	29	14			78
受験者数	18	17	28	13			76
合格者数	18	17	28	10			73

3、「インターネットで受験する」第19回全国手話検定試験への協力・実施

(1) 実施結果

会場	県立聴覚障害者センター			
級	2 級	1 級	3 級	計
期日	2月9日 (日)	2月11 日 (火・祝)	2月16日 (日)	
申込数	20	20	20	60
受験者数	19	18	18	55

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ
手話・要約筆記ボランティア養成事業

1. 目的

2027 年に開催される日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ大会に向けて、手話通訳・要約筆記ボランティアの養成に向けた事業を行う。

2. 事業の内容

(1) 手話・要約筆記ボランティア養成連絡会議の開催

大会において聴覚障害者への情報保障を図るとともに、すべての人に分かりやすい情報提供を行う手話・要約筆記ボランティアの養成に関して協議を行った。

構成団体：社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会
宮崎県手話サークル連絡協議会
全国手話通訳問題研究会宮崎県支部
筆記サポート「ゆうゆう」
NPO 法人宮崎県中途失聴難聴者協会

開催日：令和6年6月26日、11月20日、令和7年3月19日

(2) 手話・要約筆記ボランティア養成カリキュラム・テキスト検討部会（各年3回）

手話部会と要約筆記部会に分かれて会議を3回開催し、ボランティアの養成に使用するカリキュラム及びテキストの検討を行い、暫定版のテキストを作成した。

開催日：令和6年9月11日、12月2日、令和7年2月26日

(3) 手話・要約筆記ボランティア指導者・リーダー養成研修（年3回）

研修会を3回開催し、手話・要約筆記ボランティア指導者・リーダーに対して研修を行った。

令和6年10月6日 県聴覚障害者センター （参加者64名）

令和6年12月15日 県聴覚障害者センター （参加者50名）

令和7年2月9日 県総合福祉センター （参加者62名）

(4) 出前講座

ボランティア候補者の拡大を目指し、県内手話・要約筆記サークル等に対して普及啓発、大会協力等のための出前講座を4回実施した。

令和6年5月22日 日南市保健総合福祉センター （参加者25名）

令和7年3月6日 清武総合福祉センター （参加者13名）

令和7年3月13日 宮崎県聴覚障害者センター （参加者25名）

令和7年3月18日 宮崎市総合福祉保健センター （参加者51名）

参加者合計 114 名

(5) 先催県視察

手話・要約筆記ボランティアの指導者・リーダーにより、佐賀県で開催された「SAGA2024全障スポ」大会の手話・要約筆記ボランティアの活動状況等の視察を行った。

視察日：R6.10.25～10.27 （参加者27名）

2024（令和6）年度 図書販売等事業報告

1) 目的

聴覚障害者、手話通訳者、手話学習者等に手話や聴覚障害についてより理解していただくために、全日本ろうあ連盟及び全国手話研修センターが発行している手話イラストやDVD等で構成された図書等の販売及び情報提供を行った。

2) 販売結果

2024年度の図書等の販売実績（比較表）については下記のとおり。

総販売数は1,672冊となり、2023年度の1,504冊から増加した。

2025年度からの講習会で手話奉仕員養成テキスト（改訂）の利用が始まることの影響している。2025年度は、ほぼ手話奉仕員養成テキスト（改訂）及び手話奉仕員養成のための講義テキストに販売が移行すると考えられる。

3) 課題

手話講習会テキストの販売が主力であるが、手話学習辞典等の関連書籍の販売も積極的に行っていくことで一層の収益増に努めている。

書籍月別販売金額 比較表（図書送料は除く）

	2023年度 販売		2024年度 販売	
	数量（冊）	金額（円）	数量（冊）	金額（円）
4月	582	1,538,991	472	1,153,255
5月	315	588,997	465	1,034,329
6月	70	114,830	279	564,882
7月	111	209,856	94	185,788
8月	29	69,201	40	82,187
9月	90	172,814	45	111,825
10月	75	175,726	7	19,074
11月	33	71,193	4	11,297
12月	38	56,660	89	189,570
1月	16	22,140	10	19,360
2月	84	188,709	59	127,380
3月	61	241,348	108	218,421
販売合計	1,504	3,450,465	1,672	3,717,368
仕入合計	1,590	3,046,381	2,045	3,802,945
収益	-	404,084		△85,577

手話講習会関連テキスト販売実績

	2022 年度 (冊数)	2023 年度 (冊数)	2024 年度 (冊数)
手話奉仕員養成テキスト	260	377	219
通訳Ⅰテキスト	53	93	90
通訳Ⅱテキスト	37	56	74
通訳Ⅲテキスト	35	25	48
手話通訳者のための講義テキスト	89	91	94
手話奉仕員養成テキスト（改訂）	-	64	170
手話奉仕員のための講義テキスト	-	54	117

2024 年度苦情解決体制の整備に伴う「第三者委員」の報告

2024 年度における社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会及び県立聴覚障害者センター運営等に関する苦情の受付はありませんでした。

その理由は、利用施設であり、入所施設のような人権、自己負担等の利害に関わるケースがないためと考えられます。

利用者の皆さまが県協会及び県立聴覚障害者センターを安心して利用・相談できるよう、誠実な対応、適切な福祉サービスの充実に努めていきます。

2025 年 3 月 31 日

社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
理事長 堀田 享志